

ごみ種別の増減傾向について

資料3

区分	ごみ種	令和元年度 1人1日当た りの量	令和14年度の推計値		昨今の増減傾向	施策のイメージ
			増減	1人1日当た りの量 増減率		
家庭系	焼却ごみ類	385.8	増加	397.2 3.0%	【増】プラスチック製容器類や古紙類の混入による増加、 コロナウイルス感染症拡大の影響による増加	
	プラスチック製容器類	19.3	減少	17.6 ▲8.8%	【減】プラ容器の紙製品化や軽量化による減少、 焼却ごみ 類への混入による減少	
	ペットボトル類	5.8	増加	7.8 34.5%	【増】缶やびんのペットボトル化による増加	
	空き缶類	4.5	同等	4.5 0.0%	【±】近年横ばい傾向	
	飲・食料用ガラスびん類	13.2	減少	1.1 ▲91.7%	【減】ペットボトルや缶製品の普及による減少	
	破碎ごみ類	14.4	増加	36.0 150.0%	【増】新センターにおける直接搬入の増加、台風の大型化 等による増加	
	陶器・ガラス類	5.9	増加	11.6 96.6%	【増】台風の大型化等による増加	
	乾電池・蛍光管	0.6	増加	0.7 16.7%	【増】主な増加要因なし	
	粗大ごみ（補正推計）	21.5	増加	15.3 ▲28.8%	【増】新センターにおける直接搬入の増加	
	新聞・広告（補正推計）	6.4	減少	3.1 ▲51.6%	【減】電子化による減少、店頭回収の普及による減少、 焼 却ごみ類への混入による減少	
	雑誌・雑紙	7.4	減少	4.0 ▲45.9%	【減】電子化による減少、店頭回収の普及による減少、 焼 却ごみ類への混入による減少	
	段ボール	7.1	減少	6.1 ▲14.1%	【減】店頭回収の普及による減少、 焼却ごみ類への混入に よる減少	
	集団回収	新聞・広告（補正推計）	28.7	減少	14.1 ▲50.9%	【減】電子化による減少、店頭回収の普及による減少
雑誌・雑紙		14.6	減少	7.6 ▲47.9%	【減】電子化による減少、店頭回収の普及による減少	
段ボール		14.2	減少	8.6 ▲39.4%	【減】店頭回収の普及による減少	
繊維類		4.0	減少	3.2 ▲20.0%	【減】リユースショップの普及による減少、フリマアプリ の普及による減少	
事業系	事業系一般廃棄物	260.2	増加	279.0 7.2%	【増】景気要因による増加	